

DAS KAPITAL

第49回衆議院選挙はご苦労様でした!
次回11月学習会
第33回「資本論を読む会」



日時：2021年
11月29日（月）
午後6時30分から
オンラインで
「第12章 第4節
工場手工業内の分業
と社会内の分業」（岩
波文庫(二)295P）から。
選挙選の真っ最中10
月28日に「資本論を読
む会」は、活動をやり
くりしてオンライン参
加した7名（地方からは2
名）で開催しました。
今回は「第3節 工場

手工業の二つの基本形態—異種工場手工業と有機的工場手工業」の討論だけで終わりにしました（前回は、読み合わせだけしていただきましたので）。いつもの通り、ア～でもない、コーでもない議論になりましたが、その中で出てきた次回への宿題です!!

①数学が近代機械学の創造に果たした役割とは(291p8-9L) ②「新しい総括機能を産みだすかぎりでは、例外が生ずる。」(下線の意味、295p3L)。の二つについて各自調べてくるように…と。

討論後の自主懇親会も、終盤に入った総選挙情勢が話題の中心となりました。

次回は「第4節 工場手工業内の分業と社会内の分業」(295P) から読み合わせして始めます。

初参加の方歓迎! 別途お送りするZoomアドレスからお入りください。楽しくやりましょう!

☆「資本論を読む会」の最初からの資料は下記ホームページでご覧になれます。

◎「資本論を読む会」3周年の感想…ホームページ「BBS掲示板」もご覧ください。

◎ <http://socialistho.cafe.coocan.jp/> 「資本論を読む会」オープン・コーナーにあります。

レポーターから--Kai

第十二章 分業と工場手工業

第3節 工場手工業の二つの基本形態—異種工場手工業と有機的工場手工業

※第1節では、工場手工業の起源を、第2節では、部分労働者とその道具をみてきました。

・今回、第3節は、工場手工業の全体の組織、仕組みについて書かれています。

■工場手工業の構成には二つの基本形態がある。

・一つは、異種工場手工業 二つには、有機的工場手工業です。

・「異種工場手工業」とは、

数々の部分手工業があり、最後に、全体の組み立てがされる生産、のこと。

・「有機的工場手工業」とは、

段階的諸過程を通過する一連による製品の生産するものです。

※異種工場手工業では、例えば時計という商品ですが、独立した部分生産物、部分生産物の単なる機械的な組み合わせによってできあがる。

※有機的工場手工業では、例えば縫針という商品ですが、その完成までには一連の過程があり、順次、作業が加えられて、製品がつくり上げられていく。

◎分散していた手工業を結合することにより、製品の生産段階間の空間的分離を減少させる。

・一段階から他段階への移行時間を短縮させる。以降媒介の労働も、縮小される。

※製品の製造時間が短縮され、手工業と比して、生産力が高められる。

・これは、工場手工業の協業から生ずる。

・しかし、一方で生産の段階では分立しており、一つの過程から他の過程へ、絶えず製品を運ぶことが必要であり、大工業からみると、工場手工業の原則に内在する制限として現われる。

◎ウィリアム・ペティも工場手工業的分業を、時計で例解している。」

・ウィリアム・ペティは、清教徒革命から王政復古期にかけてのイングランドの医師、測量家、経済学者。労働価値説を初めて唱え、古典派経済学の始祖といわれています。